

科目名	発達障害教育支援方法特論	担当教員	阿部 利彦
科目属性	専門科目 C	単位数	2 単位 (面接 0.5 単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>【授業概要】 子どもの多様性を重視し、インクルーシブな学びの場を作るためには、特別支援教育、教育相談、生徒指導の枠を超えた教員間の連携、各専門機関との連携、保護者や家族との協力体制が必要となる。その連携を土台に学校生活の中でこまり感がある児童・生徒を支えるための様々なアプローチを学び、子どもたちの力を引き出す、自立に向けた支援をライフステージを見据えて検討する。</p> <p>【授業の到達目標】 この授業の具体的な到達目標は、以下の3つである。 1 多様性を重視した学びの場づくりのためのポイントを理解する 2 子どものこまり感に合わせた様々な支援方法を理解する 3 子どもと家族を支えるための連携のあり方を理解する</p>			
<p>【授業計画】 全 15 回の授業計画は以下のとおりである 第 1 回 特別支援教育と教育相談・生徒指導をつなぐ連携のあり方 第 2 回 感覚統合の視点で子どもの「つまずき」とらえる 第 3 回 授業のユニバーサルデザインからインクルーシブデザインへの転換 第 4 回 発達心理学と発達支援 第 5 回 発達障害のある成人の支援 第 6 回 思春期・青年期の支援 第 7 回 保護者・家族への支援 第 8 回 通級指導教室で行う支援～アセスメントから教材づくりまで 第 9 回 通常学級における学級経営と集団指導 第 10 回 保育現場でのアセスメントと支援 第 11 回 子どもと家族の関係を調整する支援 第 12 回 個別の支援と学級支援の実践 第 13 回 合理的配慮と基礎的環境整備の実践 第 14 回 教員間の理解を深める取り組み 第 15 回 ライフステージを見据えたかかわりとは 科目修得試験</p>			
<p>【評価方法】 評価については、スクーリング評価 (25%)、レポート評価 (25%)、科目修得試験 (50%) を総合しての評価となる。</p>			
<p>【教科書】 阿部利彦. (2017). クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル V 3 対談編, 金子書房.</p>			
<p>【参考図書】 阿部利彦. (2009). クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル, 金子書房. 阿部利彦. (2012). クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル NEXT LEVEL, 金子書房. 文部科学省 (2017) 『特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』</p>			